

平成23年度 第2回 木曾三川下流部 広域防災ネットワーク検討会

最近の防災・減災に関する動きについて

- ・木曾三川下流管内の耐震点検状況
- ・東北地方太平洋沖地震時の木曾三川下流管内の津波観測結果
- ・今後の防災対策に関する各機関の取組状況
- ・高速道路への津波緊急避難に関して

木曾川下流管内の耐震点検状況

木曾川下流河川事務所等の地震・津波に関する検討状況

■指針関係

①木曾三川下流部河川堤防、水門・樋門耐震性評価手法ガイドライン

(平成18年3月 木曾川下流河川事務所)

検討体制:木曾三川下流部地震防災検討委員会

(委員長:岐阜大学杉戸副学長)

②河川構造物の耐震性能照査指針(案)・同解説

(平成19年3月 国土交通省河川局治水課)

③木曾三川下流部河川堤防地震対策工ガイドライン(案)

(平成20年3月 木曾川下流河川事務所)

検討体制:木曾三川下流部地震対策工検討委員会

(委員長:岐阜大学杉戸副学長)

■津波遡上検討

①平成7年3月 中部地方整備局河川部

外力:安政東海地震(1854年)、東南海地震(1944年)、チリ地震(1960年)、伊勢湾断層

②平成17年3月 木曾川下流河川事務所

外力:安政東海地震(1854年)……①で最大級のものを採用

■耐震点検

①堤防

平成21年度 高潮堤防区間

平成22年度 一般堤防区間

②河川構造物(直轄施設:水門・樋門)

平成21年度より実施

平成23年度末で29施設のうち14施設点検完了予定

外力(地震):プレート境界型=東海・東南海地震(中央防災会議モデル)

内陸直下型=レベル2地震動(道路示方書)

(津波):安政東海地震

木曾川下流管内の耐震点検状況

堤防の耐震点検の実施状況

- ◆ 平成21年度に高潮堤防区間、平成22年度に一般堤防区間のレベル2地震動（※）に対する堤防耐震点検を実施

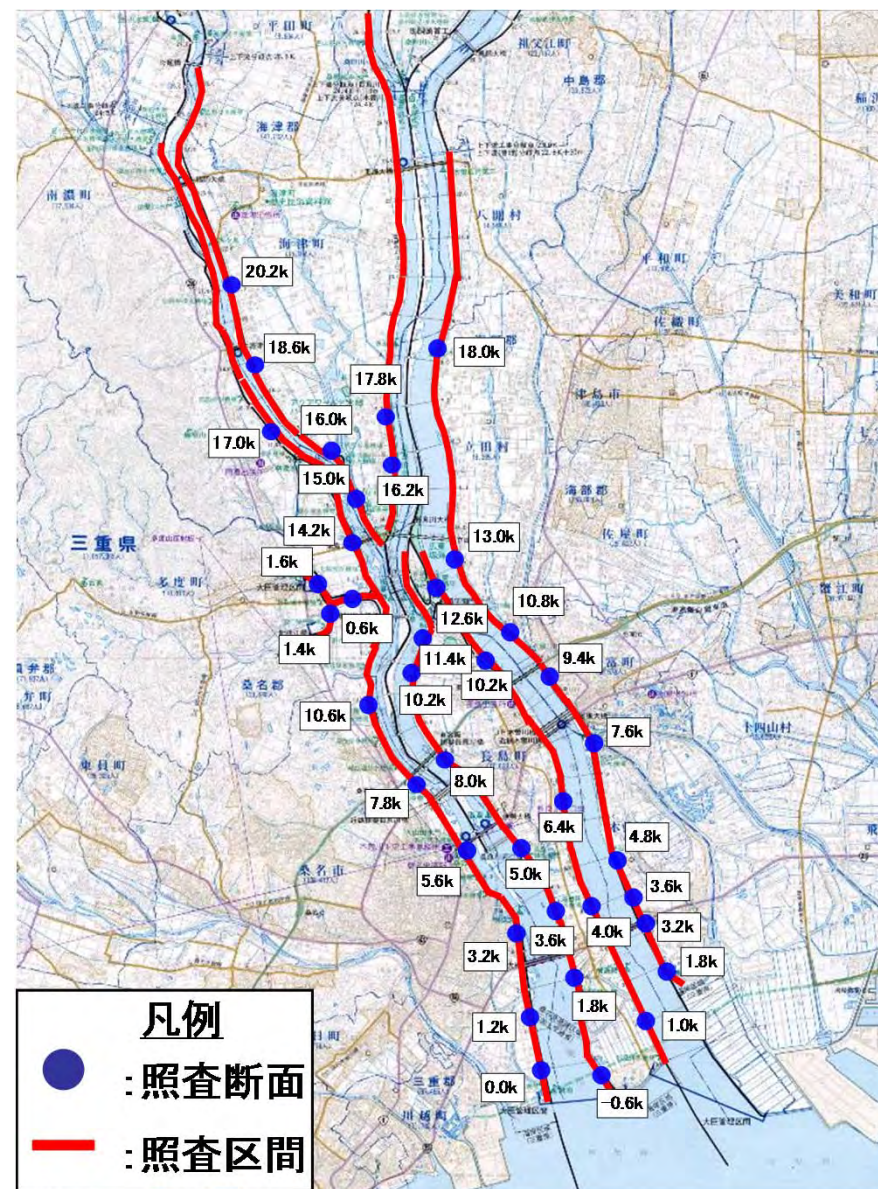
年度		H21		H22	
木曾川	左岸	1.8	～ 8.4	8.4	～ 22.8
	右岸	0.0	～ 8.4	8.4	～ 13.6
長良川	左岸	2.8	～ 7.4	7.4	～ 13.8
	右岸			13.8	～ 30.2
揖斐川	左岸	-1.0	～ 2.8	13.8	～ 26.8
	右岸	-0.6	～ 7.4	7.4	～ 24.8

※レベル2地震動

現在から将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震動

海溝型＝東海・東南海地震（中央防災会議モデル）

内陸直下型＝レベル2地震動（道路橋示方書）



木曾川下流管内の耐震点検状況

河川構造物(水門・樋門)の耐震点検の実施状況

番号	施設名	河川名	位置(距離標、左右岸)	所在地	完成年度	照査状況	部位等	点検結果				
								レベル1地震動(※1)	レベル2地震動(※2)			
									プレート境界型		内陸直下型	
水流(縦断)方向	水流(横断)方向	水流(縦断)方向	水流(横断)方向									
1	鍋田上水門	木曾川	7.8k+86 左岸	三重県木曾岬町	S36	済み		函体:NG 操作台:NG 門柱:NG	左記に加え、基礎:NG			
2	船頭平閘門	木曾川	12.4k-13 右岸	愛知県愛西市	M35	未照査						
3	長島排水機ひ管	長良川	4.8k-51 左岸	三重県桑名市	S59	済み		OK	OK	門柱:せん断NG	OK	門柱:せん断NG
4	城南排水機ひ管	揖斐川	-0.2k-34 右岸	三重県桑名市	S53	改築中						
5	三之丸水門	揖斐川	4.2k+70 右岸	三重県桑名市	H18	済み	門柱レス	OK	OK	OK	OK	堰柱:せん断NG
6	川口水門	揖斐川	4.4k-19 右岸	三重県桑名市	H14	済み	門柱レス	OK	OK	堰柱:せん断NG	OK	堰柱:せん断NG
7	住吉水門	揖斐川	4.6k+20 右岸	三重県桑名市	H14	済み	門柱レス	OK	OK	OK	OK	堰柱:せん断NG
8	大山田水門	揖斐川	6.0k-39 右岸	三重県桑名市	S58	済み		OK	OK	OK	OK	門柱・曲げNG ゲート・残留変位NG
9	沢北ひ管	揖斐川	6.0k- 8 右岸	三重県桑名市	S58	済み		OK	門柱:せん断NG	門柱:せん断NG	門柱:せん断NG	門柱:せん断NG
10	沢北排水機ひ管	揖斐川	7.6k+26 右岸	三重県桑名市	S54	済み		OK	OK	門柱:せん断NG	OK	門柱:せん断NG
11	深谷水門	揖斐川	8.4k+93 右岸	三重県桑名市	H20	済み		OK	OK	門柱:せん断NG	OK	門柱:せん断NG
12	御砂ひ管	揖斐川	9.4k-58 右岸	三重県桑名市	S39	照査中						
13	前川ひ管	揖斐川	10.4k+73 右岸	三重県桑名市	H20	照査中						
14	大江樋門	揖斐川	14.6k+60 左岸	岐阜県海津市	H10	済み		OK	OK	門柱:せん断NG	OK	門柱:せん断NG
15	大江排水機場ひ管	揖斐川	14.6k+60 左岸	岐阜県海津市	H9	済み		OK	OK	門柱:せん断NG	OK	門柱:せん断NG
16	高須輪中排水機ひ管	揖斐川	15.8k+68 左岸	岐阜県海津市	S50	済み		OK	函渠:せん断NG	門柱:せん断NG 継手開口量NG	函渠:せん断NG	門柱:せん断NG 継手開口量NG
17	勢濃排水ひ管	揖斐川	16.2k+336 右岸	岐阜県海津市	H2	照査中						
18	南部排水機ひ管	揖斐川	18.4k+11 右岸	岐阜県海津市	S55	済み		NG	函渠:せん断NG	OK	函渠:せん断NG	OK
19	小屋川ひ管	揖斐川	18.8k+138 右岸	岐阜県海津市	S35	未照査						
20	山崎南谷ひ管	揖斐川	20.0k+88 右岸	岐阜県海津市	S51	未照査						
21	河原崎排水ひ管	揖斐川	21.4k-25 右岸	岐阜県海津市	S47	未照査						
22	上野河戸排水ひ管	揖斐川	22.0k-73 右岸	岐阜県海津市	S45	未照査						
23	岡谷第二排水ひ管	揖斐川	22.4k+197 右岸	岐阜県海津市	H2	未照査						
24	岡谷第一排水ひ管	揖斐川	22.8k+145 右岸	岐阜県海津市	H2	未照査						
25	津屋川水門	揖斐川	23.0k+19 右岸	岐阜県海津市	H2	済み	端門柱・堰柱	OK	門柱:曲げNG	門柱:曲げNG	門柱:曲げNG	門柱:曲げNG
							中間門柱・堰柱	OK	OK	門柱:せん断NG	門柱:曲げNG	門柱:せん断NG
26	津屋川排水機ひ管	揖斐川	23.8k-8 右岸	岐阜県海津市	H3	未照査						
27	赤沢ひ管	多度川	1.0k- 2.3m 右岸	三重県桑名市	H4	未照査						
28	香取北ひ管	多度川	1.4k+90.0m 右岸	三重県桑名市	S59	未照査						

※1: 構造物の供用期間中に発生する確率が高い地震動

※2: 現在から将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震動

木曾川下流管内の耐震点検状況

木曾川下流管内の河川構造物耐震点検の状況

●現況堤防高

- ・直近の定期縦横断測量成果値
- ・高潮(特殊堤)区間は、波返工(胸壁)の垂直高さを含む堤防高
- ・測量年次
揖斐川・・・平成21年度、木曾川・長良川・・・平成22年度
ただし、平成24年度1月末の工事履歴を反映

●沈下後の堤防高

①一般堤防

- ・現況堤防高から沈下量を控除した堤防高

②高潮堤防(特殊堤)

- ・現況堤防高から沈下量(※)と波返工(胸壁)の垂直高さを控除した堤防高。
- ・波返工(胸壁)の垂直高さは、定期横断測量横断図の読取值。
※沈下量の考え方(次ページのイメージ図)
- ・高潮堤防(特殊堤)における波返工(胸壁)は、コンクリート構造物であり、沈下により連続壁としての遮水性が維持できないとして評価。

③一連区間の設定の考え方

- ・「液状化層圧」、「高水敷幅」、「液状化層厚中粘性土の有無」で一連区間を設定
- ・沈下量は、一連区間中の最も厳しい断面で照査した結果(堤内外の法肩、天端中央の平均値)を一律に設定

●照査外水位

①最大津波遡上高

②朔望平均満潮位に波浪等の影響を見込んだ高さ

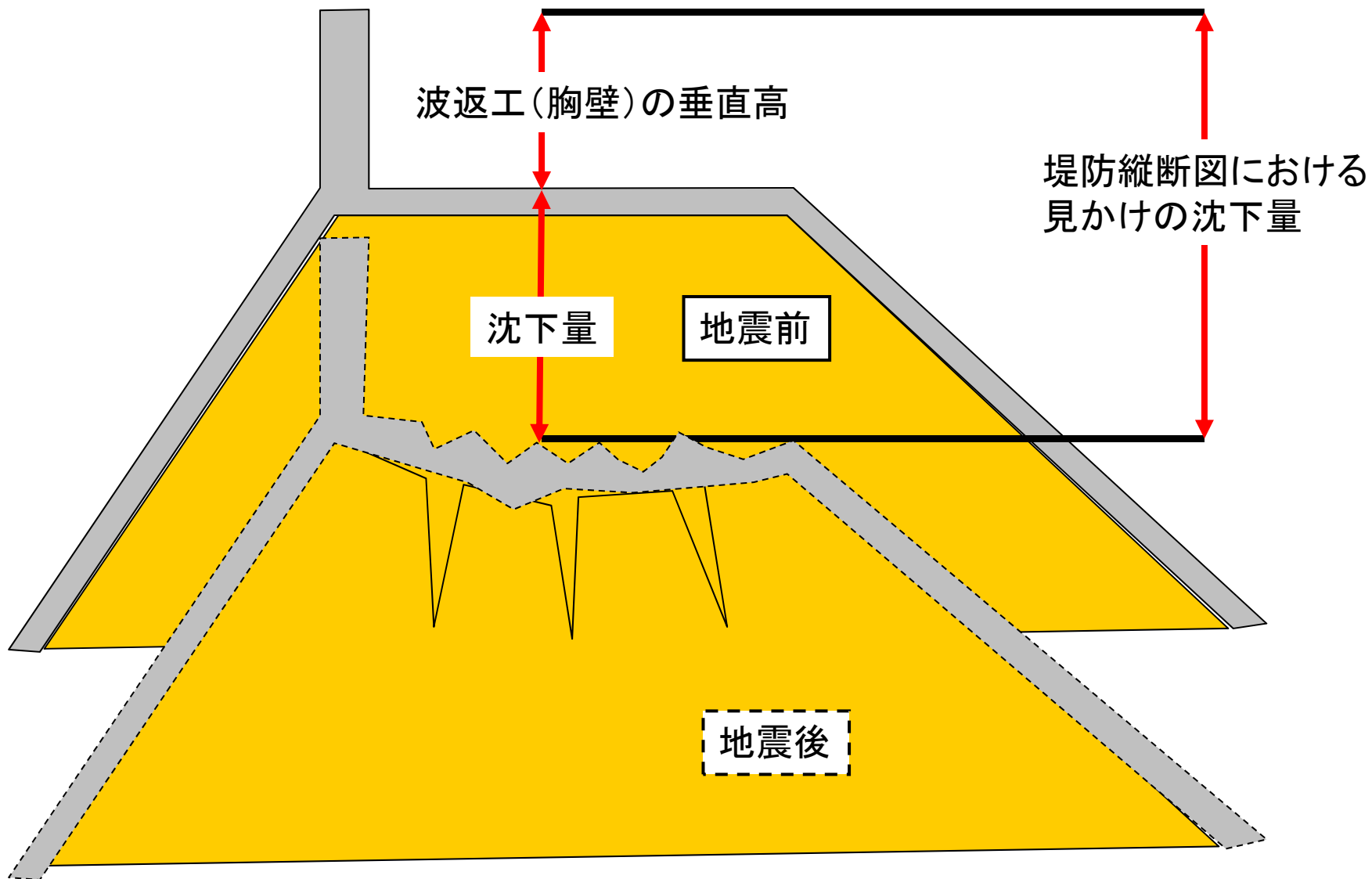
- ①と②を比較し高い水位を照査外水位と設定。

想定津波: 安政東海地震津波(1854年)のシミュレーション解析の遡上高(満潮時)

朔望平均満潮位: T.P.+1.2m+波浪等の影響(2.0m) = T.P.+3.2m

木曾川下流管内の耐震点検状況

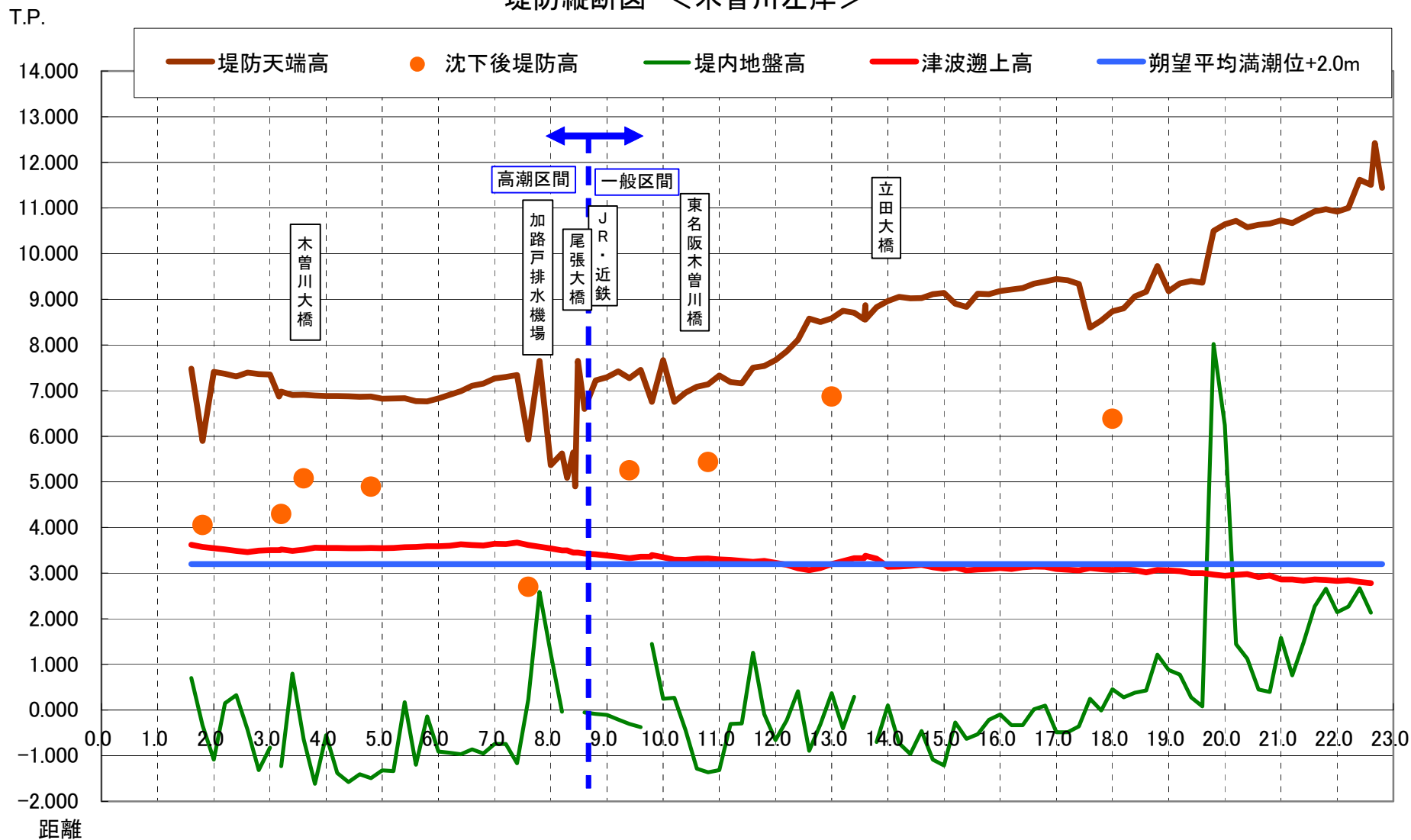
高潮堤防(特殊堤)における沈下量の考え方



木曽川下流管内の耐震点検状況

木曽川下流部堤防耐震点検結果【木曽川左岸】

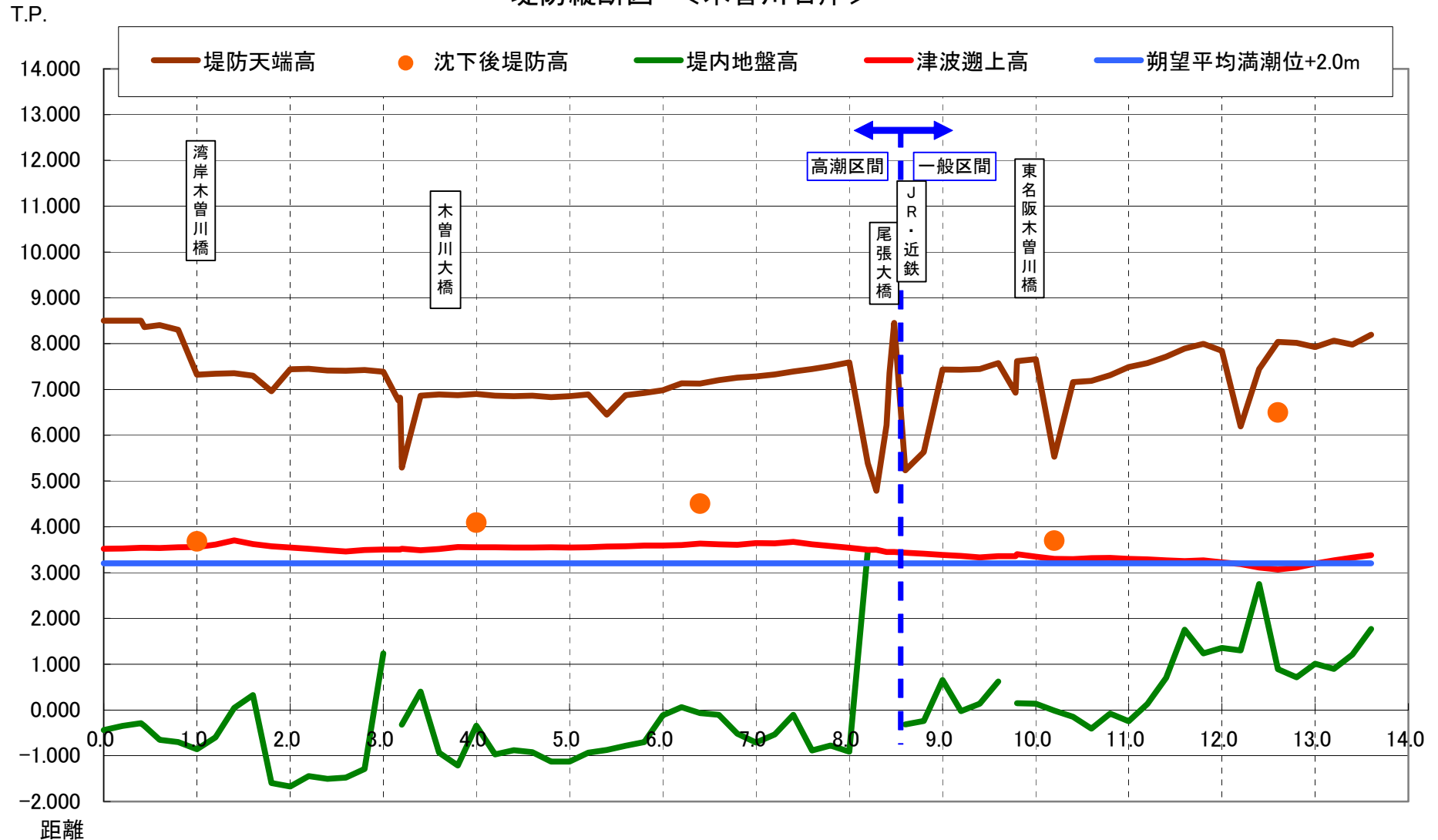
堤防縦断図 <木曽川左岸>



木曾川下流管内の耐震点検状況

木曾川下流部堤防耐震点検結果【木曾川右岸】

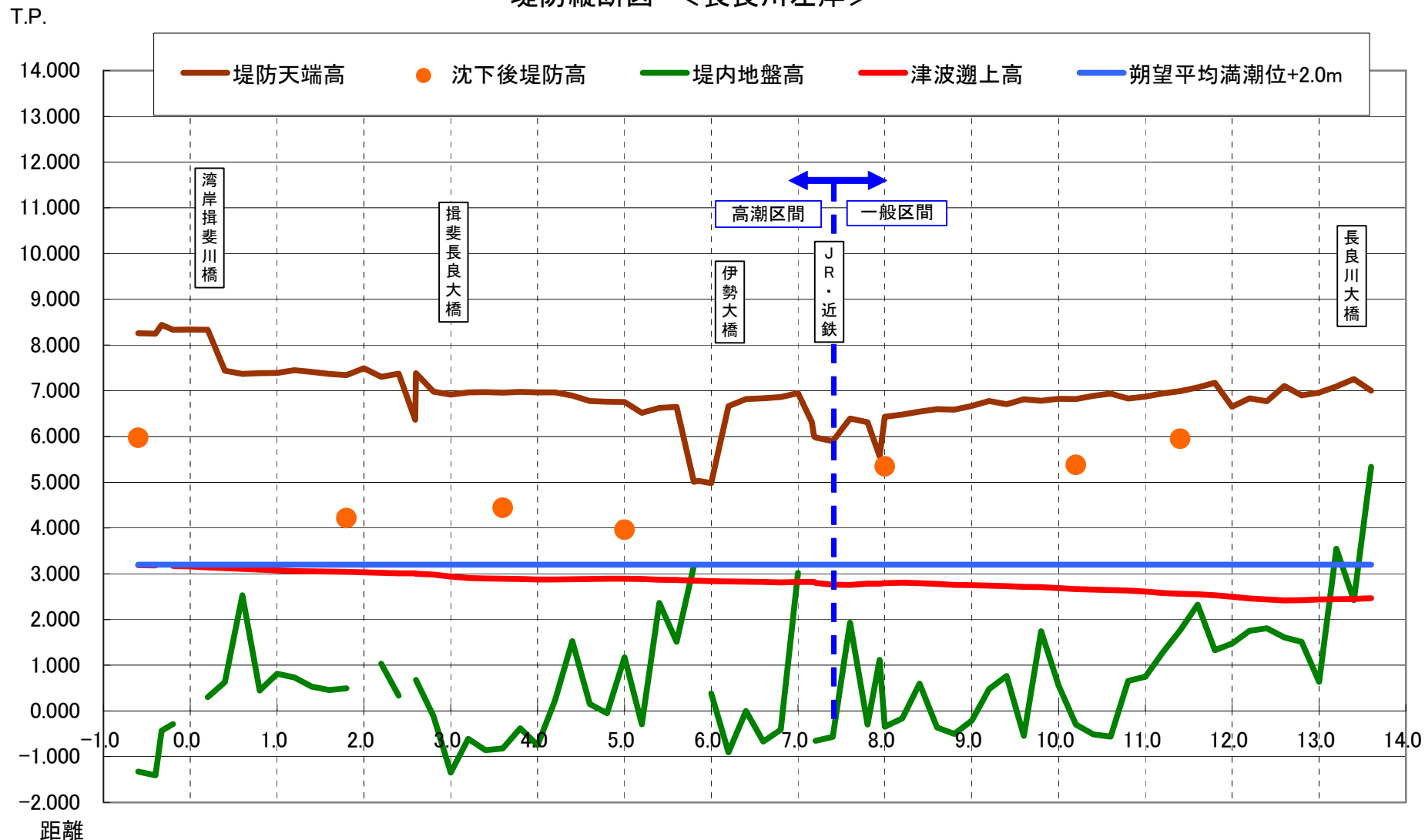
堤防縦断図 <木曾川右岸>



木曾川下流管内の耐震点検状況

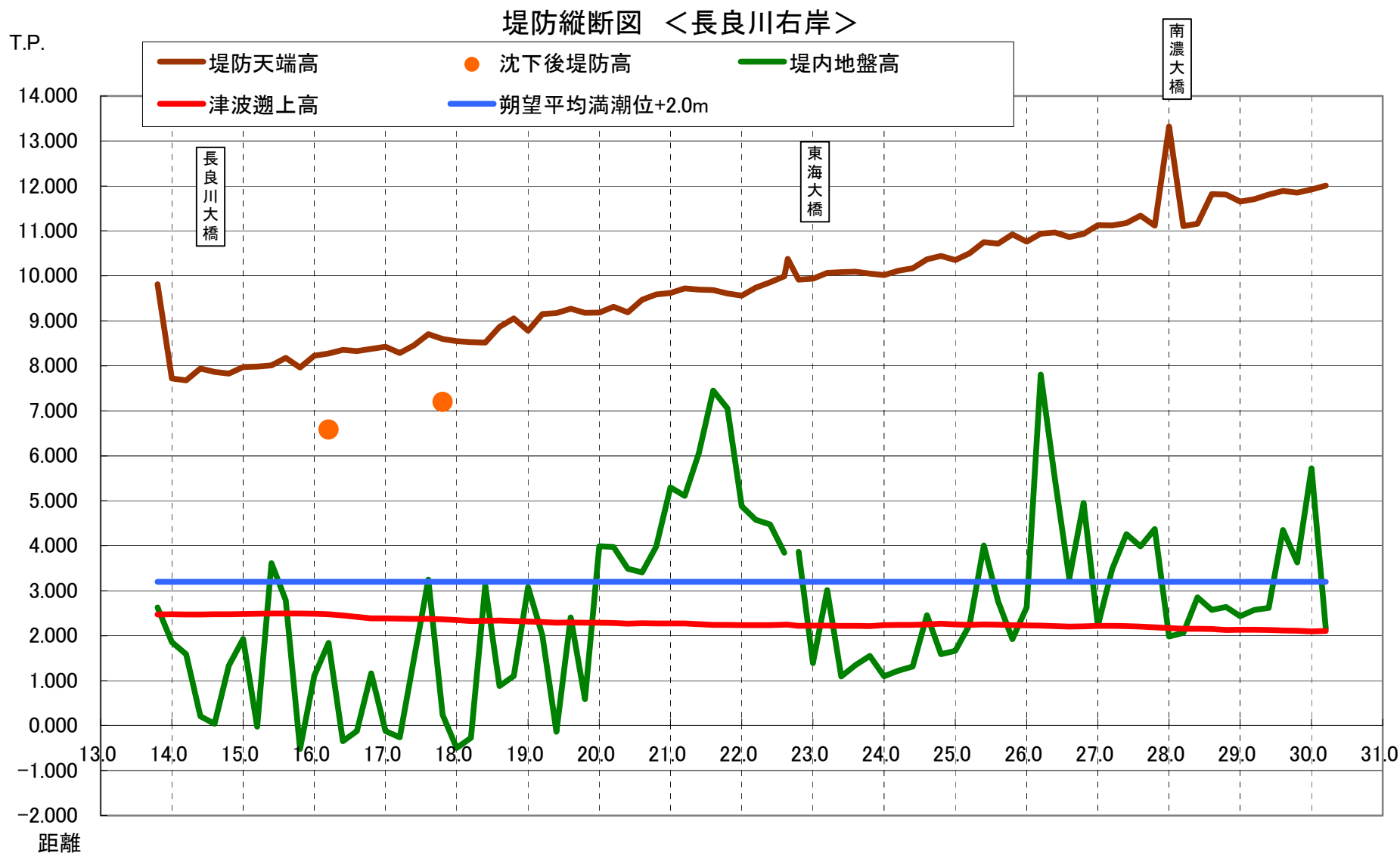
木曾川下流部堤防耐震点検結果【長良川左岸】

堤防縦断図 <長良川左岸>



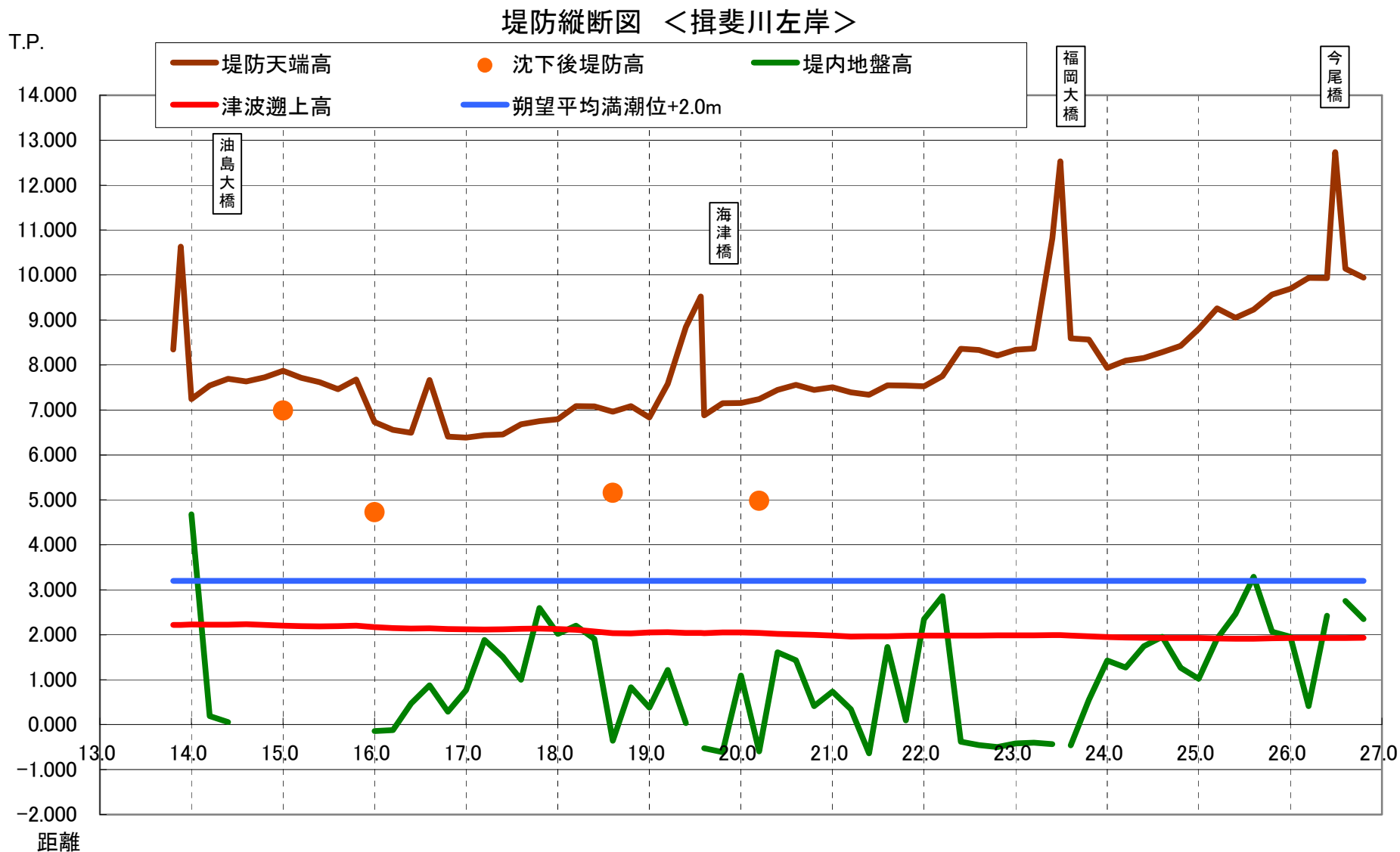
木曾川下流管内の耐震点検状況

木曾川下流部堤防耐震点検結果【長良川右岸】



木曾川下流管内の耐震点検状況

木曾川下流部堤防耐震点検結果【揖斐川左岸】

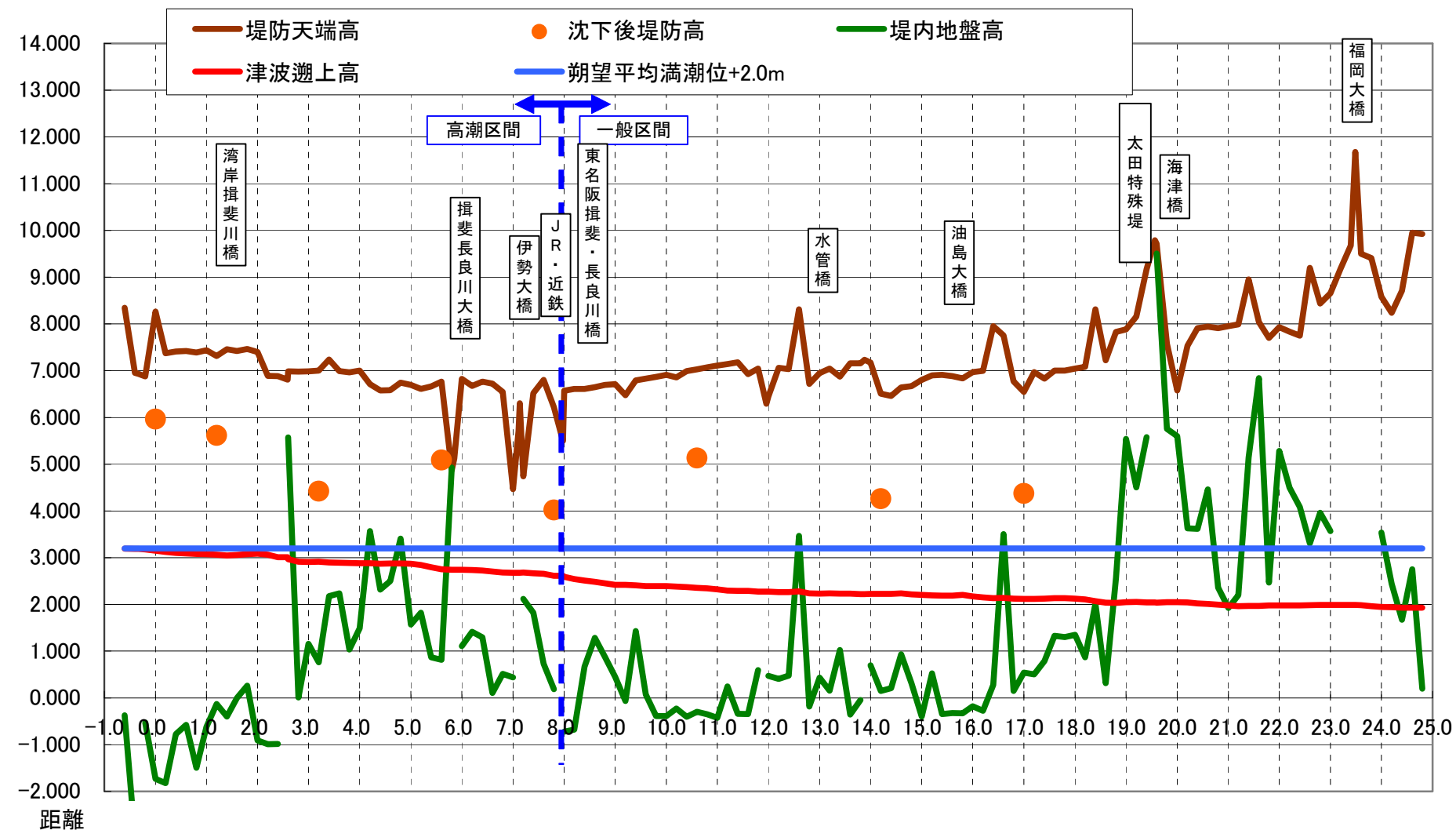


木曾川下流管内の耐震点検状況

木曾川下流部堤防耐震点検結果【揖斐川右岸】

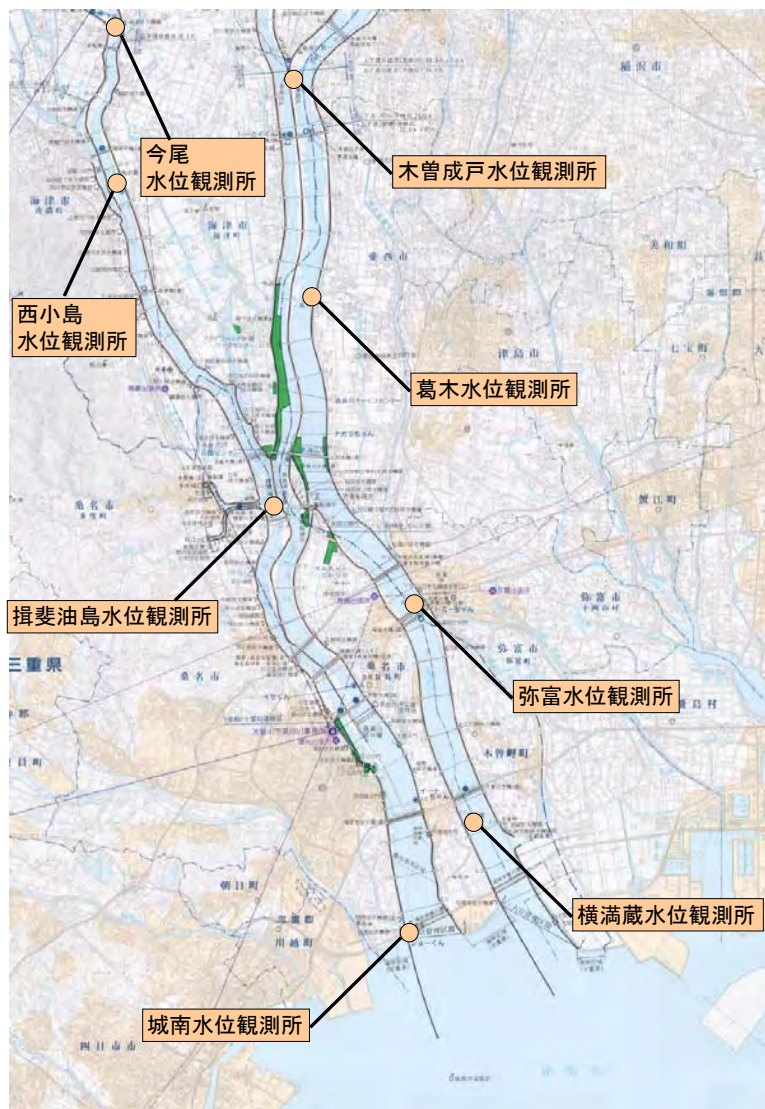
堤防縦断図 <揖斐川右岸>

T.P.



東北地方太平洋沖地震時の木曾三川下流部の津波観測結果

津波観測された水位観測所一覧



水位観測所の位置図

発令された津波警報

警報	発令時刻		予報区	予想高さ
津波注意報発令	3月11日	15:14	伊勢・三河湾	0.5m
津波警報発令	3月11日	15:30	伊勢・三河湾	1.0m
津波警報解除・津波注意報	3月12日	13:50	伊勢・三河湾	
津波注意報解除	3月12日	20:20		

※気象庁HPを参考に記載

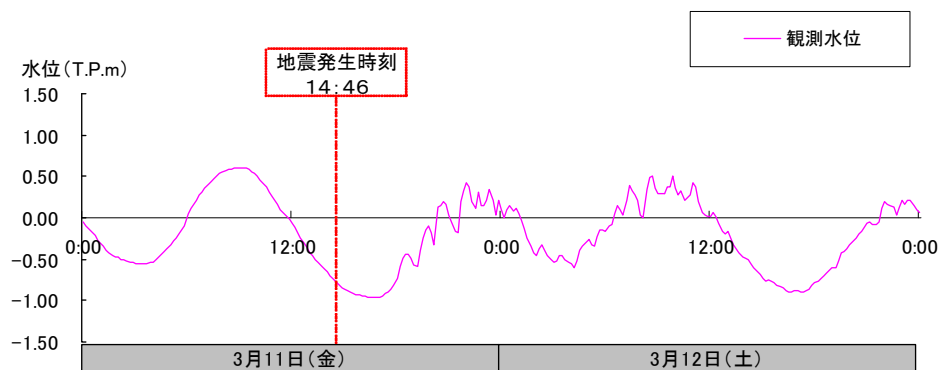
津波観測された水位観測所一覧

	観測所名	位置	所在地	零点高
木曾川	横満蔵(よこまくら)	右2.47k	三重県桑名市長島町	T.P. -2.95m
	弥富(やとみ)	左8.83k	愛知県弥富市小島町	T.P. -2.39m
	葛木(かつらぎ)	左18.30k	愛知県愛西市葛木町	T.P. -2.02m
	木曾成戸(きそなると)	右24.10k	岐阜県海津市海津町	T.P. 0.88m
揖斐川	城南(じょうなん)	右0.15k	三重県桑名市福岡町	T.P. -3.31m
	揖斐油島(いびあぶらじま)	左13.53k	岐阜県海津市海津町	T.P. -1.82m
	西小島(にしおじま)	左23.61k	岐阜県海津市海津町	T.P. -0.62m
	今尾(いまお)	左27.00k	岐阜県養老郡養老町	T.P. -1.05m

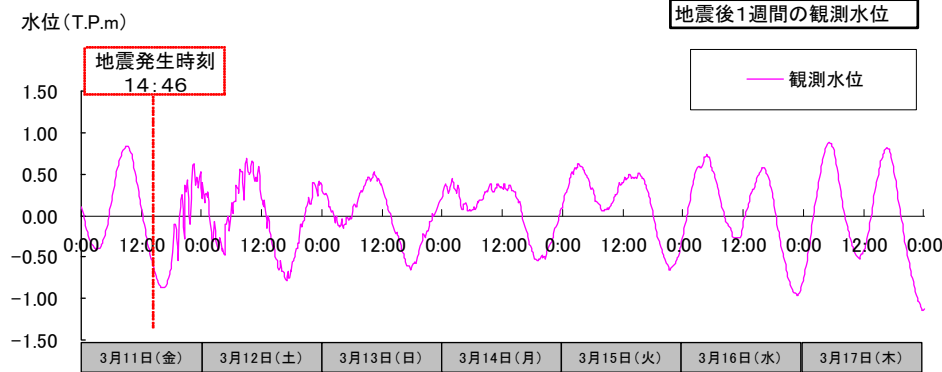
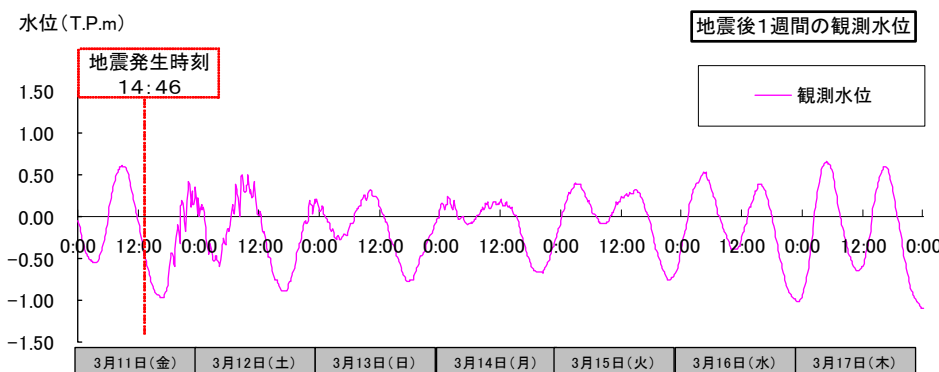
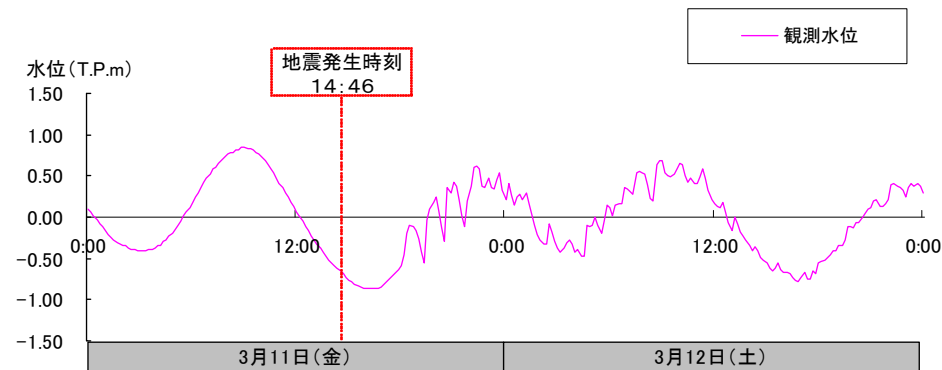
東北地方太平洋沖地震時の木曾三川下流部の津波観測結果

津波観測結果【木曾川(横満蔵、弥富)】

横満蔵水位観測所
(木曾川右岸2.47k)



弥富水位観測所
(木曾川左岸8.83k)

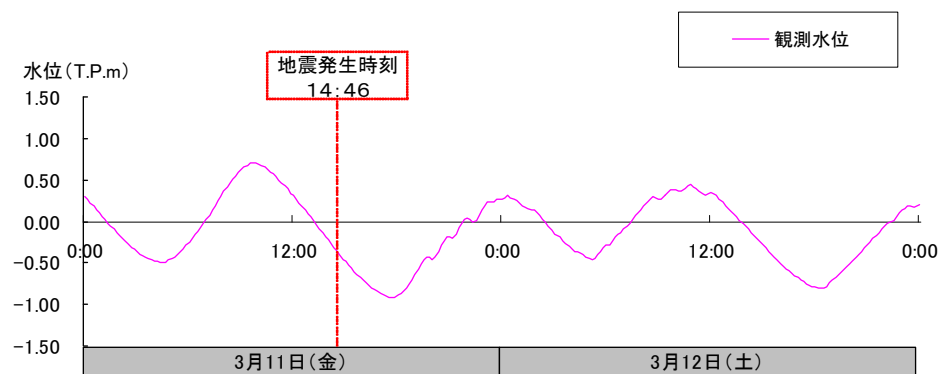


※観測水位は10分間隔のため参考値

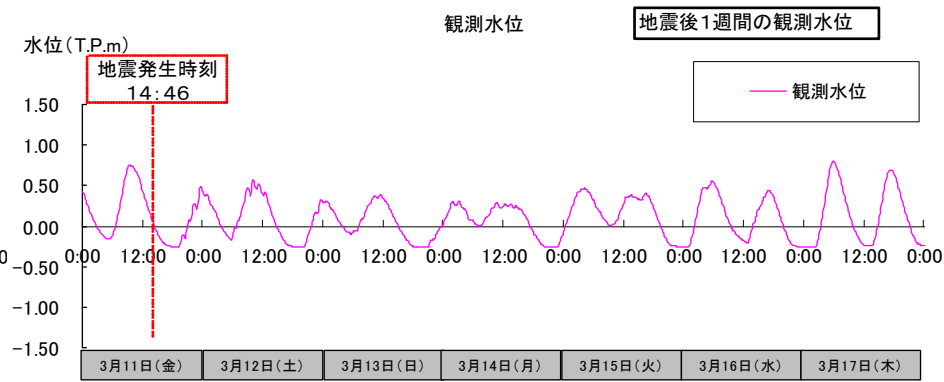
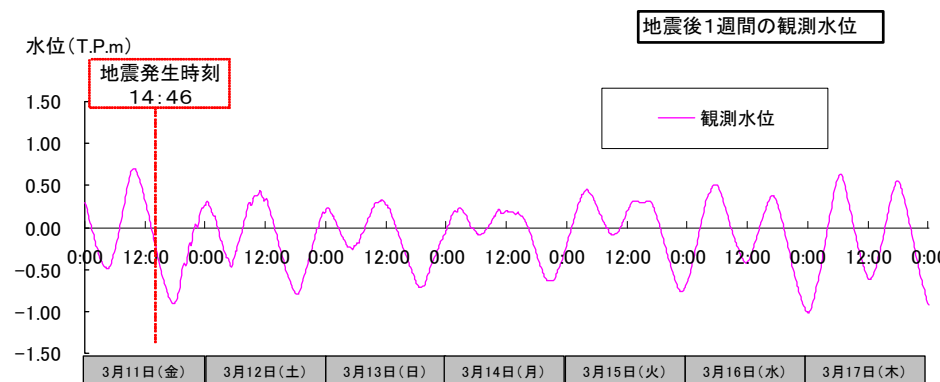
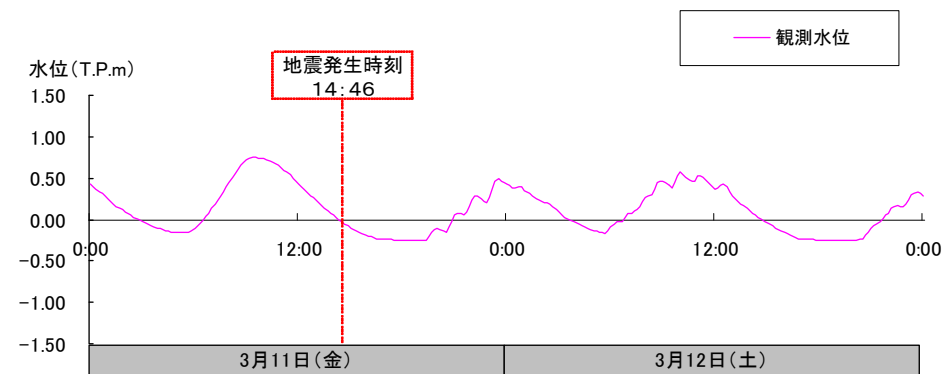
東北地方太平洋沖地震時の木曾三川下流部の津波観測結果

津波観測結果【木曾川(葛木、木曾成戸)】

葛木水位観測所
(木曾川左岸18.30k)



木曾成戸水位観測所
(木曾川右岸24.10k)

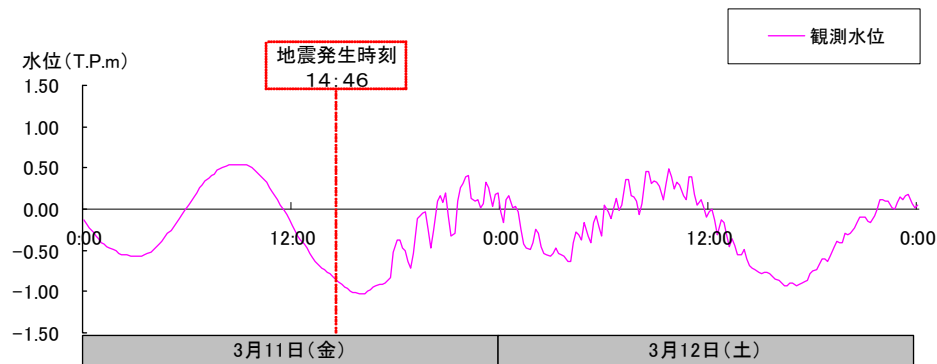


※観測水位は10分間隔のため参考値

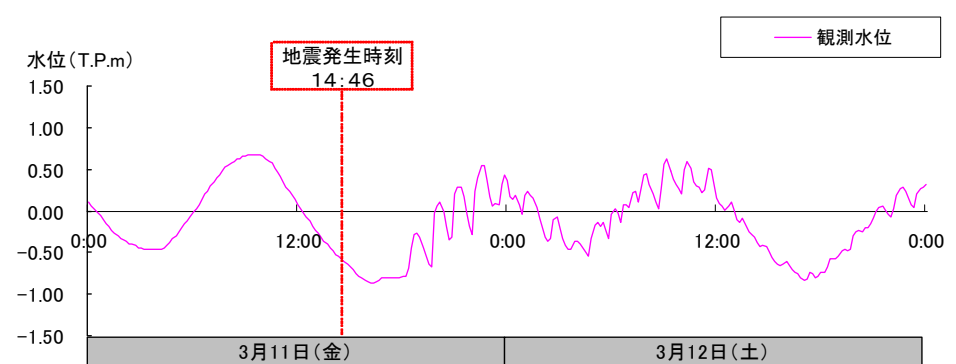
東北地方太平洋沖地震時の木曾三川下流部の津波観測結果

津波観測結果【揖斐川(城南、揖斐油島)】

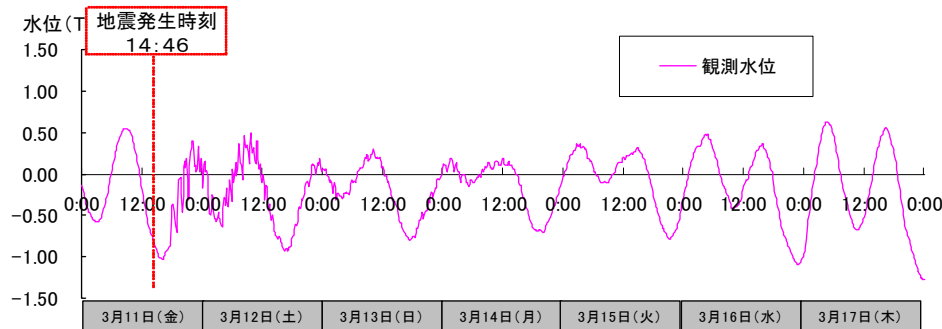
城南水位観測所
(揖斐川右岸0.15k)



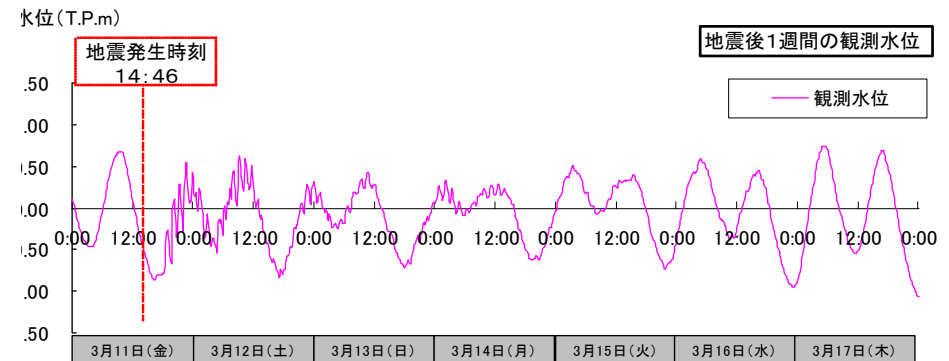
揖斐油島水位観測所
(揖斐川右岸13.53k)



地震後1週間の観測水位



地震後1週間の観測水位

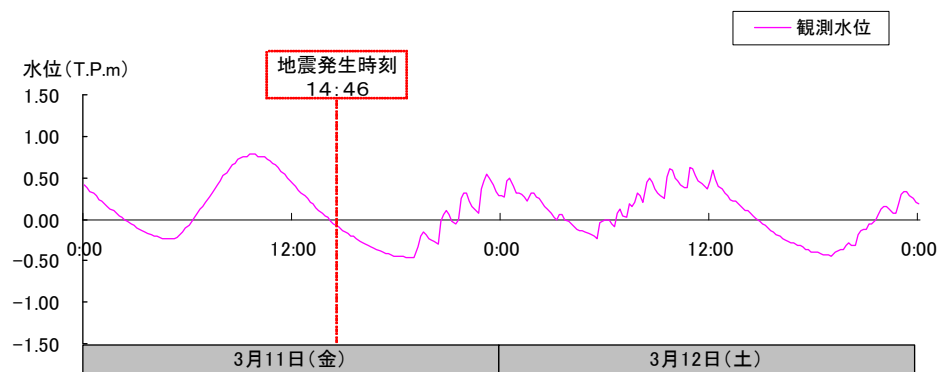


※観測水位は10分間隔のため参考値

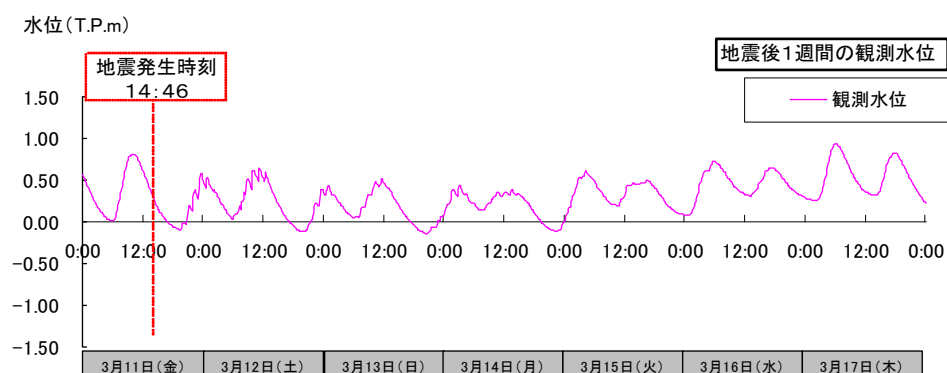
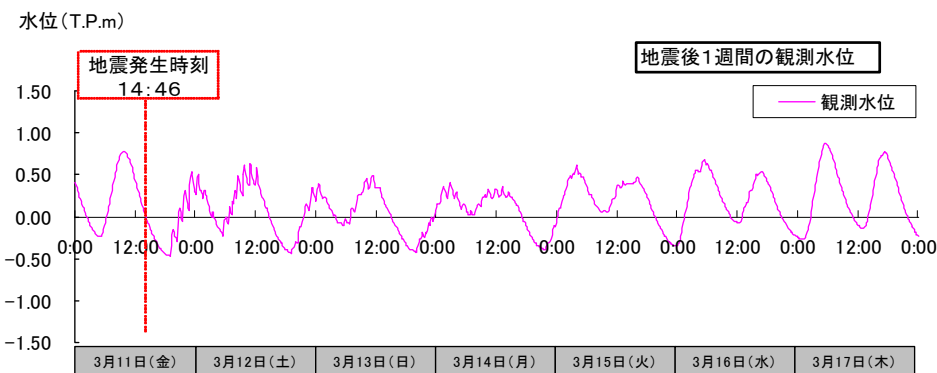
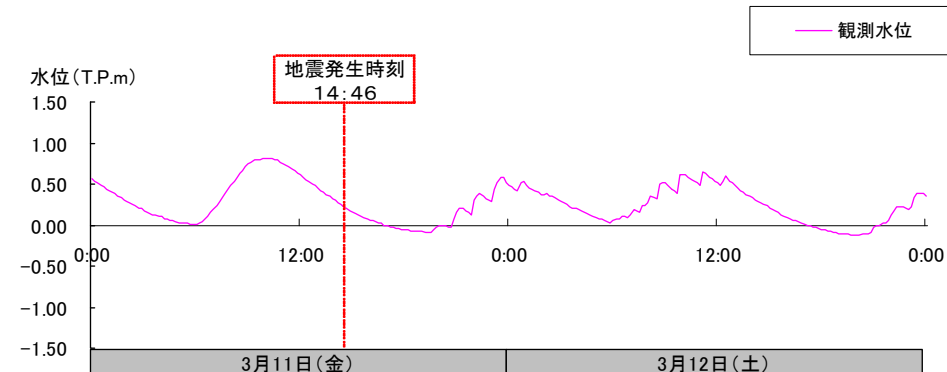
東北地方太平洋沖地震時の木曾三川下流部の津波観測結果

津波観測結果【揖斐川(西小島、今尾)】

西小島水位観測所
(揖斐川左岸23.61k)



今尾水位観測所
(揖斐川左岸27.00k)



※観測水位は10分間隔のため参考値

今後の防災対策に関する各機関の取組状況

各省庁の取組状況について

<河川に関する検討取り組み>

委員会等	機関	検討課題等	提言・中間とりまとめ等
中央防災会議 (専門調査会)	内閣府 (防災)	<ul style="list-style-type: none"> 地震動・震源域の見直し 波源域・津波メカニズムの見直し 地震の地殻変動の見直し 	<p>(平成23年9月28日 報告書とりまとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 反省と教訓をもとに防災対策全体を再構築 あらゆる可能性を考慮した最大クラスの巨大な地震・津波を検討 二つのレベル津波を想定 ○発生頻度は極めて低いものの、甚大な被害をもたらす最大クラスの津波 ○発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波
河川堤防耐震対策検討委員会	国土交通省	<ul style="list-style-type: none"> 堤体内部の液状化の検討 	<p>(平成23年9月27日 報告書とりまとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 照査の実施にあたっては、堤体内部の液状化による被災現象を評価
海岸における津波対策検討委員会	国土交通省	<ul style="list-style-type: none"> 海岸線を分割しユニット化 L1津波、L2津波の整理 	<p>(平成23年7月11日 設計津波の水位設定方法等について通知)</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計津波は、地域海岸ごとに設定することを基本 (【地域海岸】沿岸域を「湾の形状や山付け等の自然条件等から勘案し一連のまとまりある海岸線に分割) 過去に発生した津波の実績津波高さの整理。(痕跡高調査・歴史記録・文献を活用) 十分なデータが得られない場合はシミュレーションによりデータ補完する。 地域海岸ごとに一定の頻度(数十年から百十年に一度程度)で発生すると想定される津波高さを設定
東北地方太平洋沖地震を踏まえた 河口堰・水門等技術検討委員会	国土交通省	<ul style="list-style-type: none"> 電源・制御設備の多重化・代替設備確保 	<p>(平成23年9月14日 報告書とりまとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大クラスの津波、施設計画上の津波の二つのレベルの津波を想定 施設の諸元等を定める場合の津波の設計外力には、施設計画上の津波を用いる。 最大クラスの津波来襲時にあってもゲート、扉体を閉鎖できるように危機管理上の対応が可能な構造とすること。
液状化対策技術検討会議	国土交通省	<ul style="list-style-type: none"> 各社会基盤施設等に共通する事項の技術的検討 対策検討のベースとなる知見のとりまとめ 	<p>(平成23年8月31日 報告書とりまとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> FL法(液状化判定法)は、直ちに見直す必要性は低い。 液状化判定を見逃さない。
河川津波対策検討会	国土交通省	<ul style="list-style-type: none"> 海岸における津波高を踏まえ浸食作用の措置 津波防災まちづくりとしてハード・ソフト両面の対策について総合的に検討 	<p>(平成23年8月22日 緊急提言)</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川津波は、洪水と並んで計画的に防御対策を検討すべき対象と位置づける。 河川管理における施設の諸元等を定める津波を「施設計画上の津波」とし、「最大クラスの津波」は施設対応を超過する事象として扱い、まちづくりと一体となった減災を行う。 施設計画上の津波は河口が位置する地域海岸の設計津波と同一の津波を基本とする。

今後の防災対策に関する各機関の取組状況

各省庁の取組状況について

＜その他防災に関する取組＞

検討項目	機関名	主な取組状況	状況等
地震・津波に関する調査・研究			
地震に関する評価方法の見直し	文部科学省	地震調査研究推進本部 地震調査委員会での地震活動の評価における評価方法の改善の検討(平成23年6月～) 東北地方太平洋沖地震のように、発生履歴等の知見が不足している巨大地震についても評価できるよう、評価方法を改善する。	-
「緊急津波速報(仮称)」の実現に向けた観測・研究開発	文部科学省	「緊急津波速報(仮称)」の実現に向けた観測・研究開発を実施 海底地震・津波観測網の整備による地震・津波のリアルタイム検知を活用して、「緊急津波速報(仮称)」の研究開発及び社会実装に向けた調査研究等を実施する。	-
海溝型地震・津波に関する総合調査	文部科学省	海溝型地震・津波に関する総合調査を実施 津波堆積物調査等による日本海溝や南海トラフ等の海域の地震・津波調査観測を実施し、地震・津波の発生メカニズムを解明し、将来の地震予測の高精度化を図ることにより、地域の防災力向上に貢献する。	-
都市部を中心とした防災・減災力向上のための取組	文部科学省	都市部を中心とした防災・減災力向上のための取組を実施 首都直下型地震の地震ハザード・リスク評価や、長周期地震動等に対する建物の健全性の評価、被災者心理・行動を踏まえた個人の災害対応能力の向上に関する調査・研究を実施する。	-
地震・津波による被災実態調査	内閣府(防災)	東日本大震災における地震・津波による被災実態調査(平成23年度) 今後の地震・津波対策の充実・強化を目的とし、被災地の地域住民、行政担当者等から発災時の避難行動や避難状況、対応状況、体験談等を網羅的に調査・分析する。	平成23年度内にとりまとめ予定。
災害対策全般			
災害対策法制の見直し	内閣府(防災)	災害対策法制のあり方に関する研究会を設置(平成23年9月) 今後の大規模災害に備えて、災害対策基本法をはじめとする災害対策法制のあり方を検討。11月を目途に論点・見直しの方向性の整理・まとめの予定。	12月6日に第6回会合を開催 論点・方向性をまとめ
防災基本計画の見直し	内閣府(防災)	防災基本計画の見直しを予定(平成23年内及び平成24年以降) 「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」の最終報告等を踏まえた見直しを行う。	-
地域防災計画の見直しの支援	消防庁	「地域防災計画における地震・津波対策の充実・強化に関する検討会」を設置(平成23年6月) 東日本大震災における地方公共団体の災害対応を検証し、地域防災計画の見直し等を支援する。	10月11日に第3回会合を開催

※10月11日中央防災会議資料を編集

今後の防災対策に関する各機関の取組状況

各省庁の取組状況について

<その他防災に関する取組>

検討項目	機関名	主な取組状況	状況等
予防、復旧・復興対策			
津波防災まちづくり	国土交通省	社会資本整備審議会・交通政策審議会交通体系分科会計画部会における検討(平成23年5月~7月) 東日本大震災を踏まえ、津波災害に強いまちづくりの基本的考え方について検討。	7月6日 「津波防災まちづくりの考え方」について緊急提言。
三連動地震、首都直下地震等の大規模地震・津波対策			
三連動地震対策	内閣府(防災)	「南海トラフの巨大地震モデル検討会」を設置(平成23年8月) 東海・東南海・南海地震(いわゆる三連動地震)について、想定地震の設定方針について検討を開始。	12月を目途に中間とりまとめ予定
津波避難対策の強化	内閣府(防災)	災害時の避難に関する専門調査会 津波防災に関するワーキンググループ(平成23年度~24年度) 「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」最終報告を踏まえ、津波からできるだけ短時間で円滑に避難が出来る方策、自動車で安全かつ確実に避難できる方策等について具体的な検討を行う。	平成24年度内にとりまとめる予定。

津波防災まちづくり			
津波防災地域づくりに関する法律案		○津波防災地域づくりに関する基本指針を策定 ・ハード・ソフトの施策を組み合わせた「多重防御」による「津波防災地域づくり」の推進 ・津波防災地域づくりを総合的に推進するための計画(推進計画)の作成、津波災害警戒区域、津波災害特別警戒区域の作成の推進	12/7 成立 12/13 公布
津波防災地域づくりに関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律案		○津波防災地域づくりに関する法律の施行に伴い、水防法等関係法律の整備等を行う。 ・水防法、建築基準法、土地収用法、都市計画法等の改正	12/7 成立 12/13 公布

※10月11日中央防災会議資料を編集

今後の防災対策に関する各機関の取組状況

中部地方の各機関の取組状況について

＜中部地方整備局＞

- ・東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議を平成23年10月4日に設立
- ・中部圏の国や地方公共団体のみならず、学識経験者、地元経済界が幅広く連携し、東海・東南海・南海地震等の巨大地震に対して総合的かつ広域的視点から一体となって重点的・戦略的に取り組むべき事項を「中部圏地震防災基本戦略」として協働で策定し、フォローアップしていくもの

中部圏地震防災基本戦略【骨子(案)】より抜粋

東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議

3連動地震等の巨大地震への対策について、下記構成員により、中部地域における防災基本戦略を策定。

- 座長(奥野信宏 中京大学教授)
- ◆ 学識経験者
- 国の地方支分部局
- 地方公共団体
- 経済団体
- ライフライン関係団体等

幹事会

中部圏地震・津波対策
アドバイザー会議

分野別検討会
(中部地方幹線道路
協議会、港湾地震・
津波対策検討会議
等)

中部圏(5県)市町村
(188)



III 基本戦略の取組

1. 基本戦略の取組にあたっての考え方
 - 1.1 今後の地震・津波対策の考え方
 - 1.2 ハード施策とソフト施策の総合的推進
 - 1.3 被害想定の見直し
 2. 被害の最小化
 - 2.1 迅速かつ的確な避難対策
 - (1) 的確な防災情報の伝達
 - (2) 地震・津波観測体制の充実強化
 - (3) 確実な避難を達成するための総合対策
 - 2.2 施設整備を中心とした減災対策
 - (1) 信頼性の高い緊急輸送ネットワークの確保
 - (2) 建造物の信頼性向上
 - (3) 施設の副次的な効果も期待した「多重防御」
 - (4) 災害に強い地域づくり、まちづくり
 - 2.3 防災意識の向上
 - (1) ハザードマップ等の作成・充実
 - (2) 防災意識改革と防災教育
 - (3) 学校及び地域コミュニティの危機管理対応力の向上
 3. 迅速な応急対策、早期復旧の実施体制の構築
 - 3.1 広域防災体制の確立
 - 3.2 初動対応、被害状況の把握等も含めたオペレーション計画の事前準備
 - 3.3 救援・救護、救出活動を支える施設・体制整備、必要な物資の確保
 - 3.4 長期浸水を想定した処理計画の作成
 - 3.5 多量の災害廃棄物の発生を想定した広域連携体制の整備
 - 3.6 巨大地震を想定した訓練の実施
 - 3.7 被災者の支援対策
 4. 地域全体の復興を円滑に進めるために
 - 4.1 被災者の生活再建対策
 - 4.2 復興に向けた地域づくり
 - 4.3 地域経済の再生支援
- IV 基本戦略の推進に向けて

※第1回中部圏地震・津波対策アドバイザー会議資料より

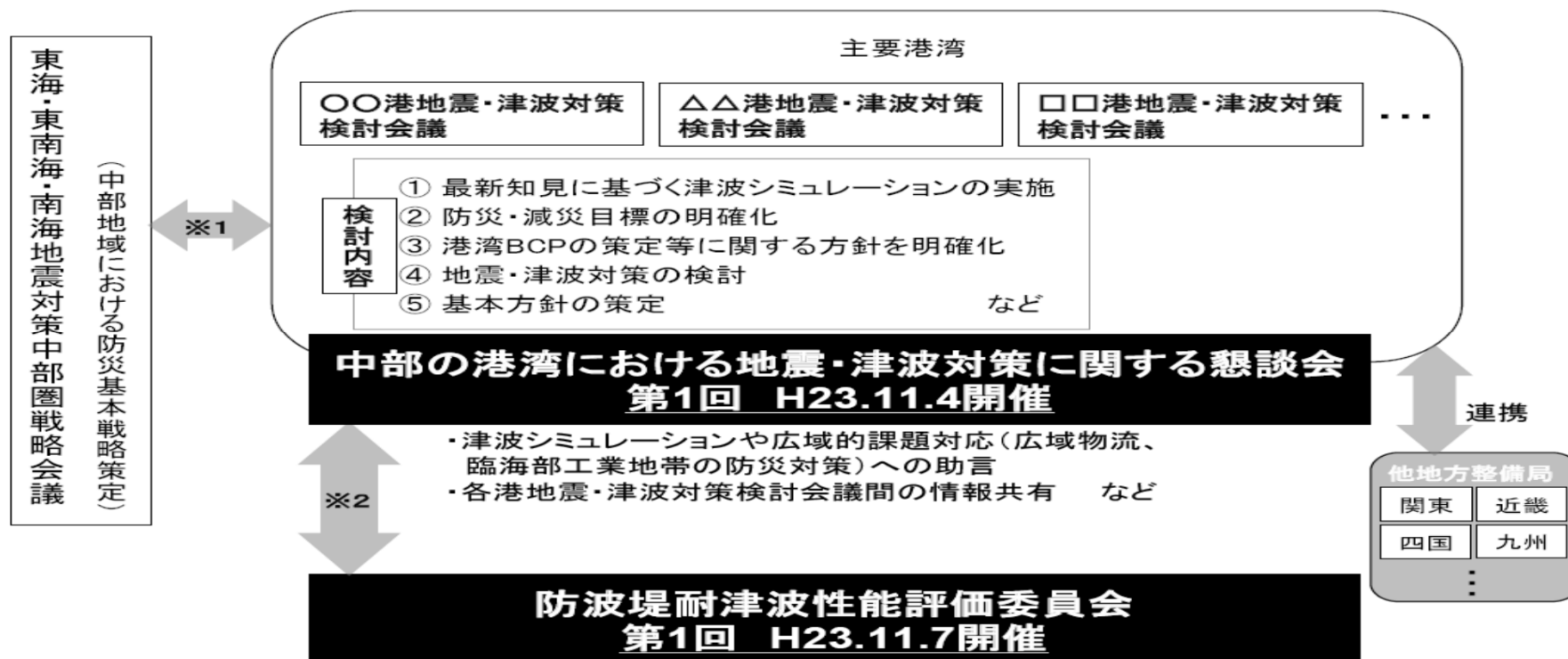
今後の防災対策に関する各機関の取組状況

中部地方の各機関の取組状況について

<中部地方整備局>

・平成23年11月「港湾における総合的な津波対策のあり方(中間とりまとめ)」(H23.7.6交通政策 審議会港湾分科会防災部会)などがとりまとめられ、港湾における地震・津波対策の基本的な考え方が示されたことを受け、他地域とも連携しつつ、東海・東南海地震等による被害の軽減対策など、特に対策が急がれる中部地方の港湾における地震・津波対策を検討するもの。

中部の港湾における地震・津波対策検討 体制図(イメージ)



※1 部門毎の検討

※2 個別事業の技術的検討

・主要な防波堤について、想定を超える津波に対して「粘り強い構造」とするなどの技術的検討

※第1回中部の港湾における地震・津波対策に関する懇談会資料より

今後の防災対策に関する各機関の取組状況

中部地方の各機関の取組状況について

<県の取組>

検討項目	機関名	主な取組状況
津波対策の推進に関すること	愛知県 防災局災害対策課	愛知県沿岸市町村等津波対策推進協議会(平成23年11月5日 設立) ・協議会を年内に実施予定。
今後の施設整備等の方針	愛知県 建設部港湾課	愛知県沿岸部における津波・高潮対策検討会(平成23年11月2日～) ・検討会を平成23～24年にかけて実施。高潮浸水予測図の公表予定
防災関連計画の総点検	岐阜県 知事直轄・危機管理部門防災課	東日本大震災震災対策検証委員会(平成23年8月3日 知事へ報告書を提出) ・東日本大震災対策検証委員会報告書を作成。岐阜県の防災体制・防災対策への提言をまとめた。 ・災害医療、広域受援、耐震化、原子力の分科会を設置し検討。
津波浸水予測	三重県 防災危機管理部地震対策室	津波浸水予測図(速報版)を公表(平成23年度10月3日) ・名古屋大学と共同研究を実施。
津波避難、耐震化など緊急課題への対策の整理、実施	三重県 防災危機管理部地震対策室	三重県緊急地震対策行動計画を策定(平成23年度10月14日)

※愛知県、岐阜県、三重県HPより記載

高速道路への津波緊急避難に関して

静岡県静岡市、焼津市

○津波緊急避難場所として、高速道路のり面を活用

- ・静岡県の静岡市、焼津市が
中日本高速道路と協定を締結

津波避難東名のり面へ

中日本
高速 静岡市などと協定締結

静岡市と静岡県焼津市は九日、津波の緊急避難場所として東名高速道路のり面を活用するための協定を、中日本高速道路（名古屋市中区）と締結した。東名高速道路や中央自動車道などを管轄する中日本高速道路管内では初の協定締結。

高速自動車国道法は、のり面を含め高速道路に、人がみだりに侵入することを禁じている。協定は大地震の発生など津波の発生の際、恐れがある場合、津波警報が解除されるまでの間、住民がのり面に避難することを認める。有効期間は三年で、随時延長する。

対象区間は、静岡市駿河区の下り線四・二キロと、焼津市の上下線各五・六キロ。のり面に登れば、場所によって線に接する両市には、

海抜十一〜二十二メートルまで避難できる。現在は高さ約一・五メートルのフェンスを乗り越えるしか進入方法は無いが、静岡、焼津両市は、後、既存の管理用出入口の活用を進める。東日本大震災では、仙台東部道路（宮城県）のり面に登り、命を取り留めた被災者がいたことから、海岸

地元自治会から東名高速道路の活用を求める要望が相次いでいた。

朝日	毎日	中日	社会
日経	読売	伊勢	
平成 23 年 11 月 9 日 (水)			朝刊 夕刊

警 察 署 九 重 二 重 双 葉 方 不 行 者 明 部 十七